

令和6年度 結果の分析及び今後の改善策

( 中間 (最終) )

白岳中学校区 校番 3 学校名 呉市立白岳小学校

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
***  確かな学力	基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、思考力・判断力・表現力の育成を図る。	児童が主体的に学ぶ授業づくりを行う。  ① 貴 「自律した学習者」を育てるための学習習慣づくりを行う。	・自分の考えを友達に伝えたりまとめたりすることのできる児童の割合は92%で、目標値85%を上回った(上半期87%)。 ・表現する場面でICTを効果的に活用したり、ペアトークやグループ活動を効果的に設定したりするなどし、さらに「学び合い」を充実させた授業づくりを行っていく必要がある。  ・学年に応じた家庭学習時間の平均の達成率は、93%で目標値の90%を上回った(上半期93%)。 ・家庭学習の習慣は定着しているが、家庭学習を十分に進めることができない児童が固定化している課題がある。 ・「学び方5」を意識している児童の割合は86%で、目標値85%を上回った(上半期85%)。「学び方5」を下敷きにし、児童の学びと関連付けることで、より意識できるようになってきた。	・引き続きペアやグループなどの授業形態を工夫すると共に、ICTを効果的に活用して、自分の考えを整理したり表現したりする活動を充実させる。 ・安心して自分の考えを表現できる学びの環境づくりを進めていく。 ・研究部を中心に成果と課題を振り返り、授業改善につなげていく。  ・家庭と連携しながら、児童の状況に応じて個別の学習課題を与えるなど、方法を工夫し粘り強く指導していく。 ・AIDリル「キュビナ」を活用し、児童のつまずきを丁寧に指導していく。 ・JCノート検定が学び方の充実につながったことから、より学び方を意識できるよう評価していく。 ・下敷きの継続使用をする。
**  豊かな心	キャリア教育の充実により、自己有用感・自尊感情を高める。	② 貴 お互いを認め合い支え合う学校・学級集団づくりを推進する。  ③ 貴 キャリア教育を充実させ、夢や目標をもつ児童を育成する。	・ルールやマナー等規範意識が身に付いている児童の割合は、97%で、目標値85%を上回った(上半期100%)。 ・校内放送を活用して全校児童に注意喚起を促したり、個別指導を適時行ったりすることで、児童は生活目標を意識して、落ち着いて学校生活を送ることができた。 ・学級に満足している児童の割合は94%で、目標値85%を上回った(上半期93%)。 ・互いの良さを認め合う様々な学級活動を工夫したり、異学年の交流を進めたりする取組の成果が出ている。  ・将来の夢や目標をもっている児童の割合は91%で、目標値90%を上回った(上半期91%)。 ・高学年になるにつれ肯定的回答の割合が低くなっている。 ・「NEWS ON 白岳小」による児童の評価が効果的であった。 ・行事等における振り返り活動の設定が、児童にも教員にも定着してきた。	・生徒指導規程(すてきな白岳っ子になろう)に則った指導を職員全体で継続的に行う。 ・タブレットを活用した指導方法は児童にとって視覚的に分かりやすく効果的であるので継続して行う。 ・学級活動において、改善すべき点について共通認識し、話し合う活動を引き続き行っていく。 ・HyperQU(5・6年実施)の結果を指導に反映し、よりよい学級づくりを進めていく。  ・引き続き、自分のよさに気付けない児童には、意識的に声をかけたり、よいところ見つけを行ったりして、相互に伝え合う場を設定する。 ・特別活動や教科等と関連させながら、目標に向けて取り組む活動や振り返る活動を継続する。 ・キャリアの記録を継続して蓄える。

★ 健やかな体	基本的な生活習慣の確立と体力の向上を図る。	<p>● 「早寝・早起き・朝ごはん」の定着を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いきいきにっこり生活カード」で、毎日朝ごはんを食べている児童の割合は92%で、目標値100%を下回った(上半期95%)。</li> <li>・朝食摂取に課題のある児童が固定化している。</li> </ul> <p>※実施期間にインフルエンザが流行したことから、朝食摂取できなかった児童もいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧な実態把握に努め、課題のある児童には、担任・養護教諭・栄養教諭を中心に繰り返し指導を行っている。また、保護者への啓発を行っている。</li> <li>・給食放送や掲示が効果的だったので、継続して行うことで、食や生活週間の大切さを意識付けるとともに、日頃からの声かけも続けていく。</li> </ul>
		<p>体力(走力・持久力・投力)の向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツが好きな児童の割合は91%で目標値85%を上回った(上半期87%)。</li> <li>・朝会や委員会による長縄大会等、児童と教員がともに運動を楽しむ場の設定が効果的であった。</li> <li>・休み時間に教室に残る児童が固定化している課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育科だけでなく学級遊びや休憩時間で体を動かす機会を設定し、体を動かす喜びを味わうことができるようにする。</li> <li>・達成感を味わうことができるよう、「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」や委員会主導の体育的イベントを継続していく。</li> </ul>
		<p>防災教育の深化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に避難する場所や避難の仕方について理解している児童の割合は93%で、目標値80%を上回った(上半期85%)。</li> <li>・毎月1日を白岳中学校区防災の日と設定し、防災について考える場を設定している効果が表れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の取組を継続し、防災教育の更なる深化を図るとともに、家庭で防災について話し合う機会の充実を図る。</li> <li>・自分事として捉えられるように引き続きICT教材を活用していく。</li> <li>・マイタイムラインを活用した授業を、教科等で仕組むことで、常に防災の意識をもち、自分事として考える機会をつくる。</li> </ul>

業務改善	教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境を整備する。	<p>児童と向き合う時間の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と向き合う時間が確保されていると感じる教職員の割合は100%で目標値80%を上回った(上半期91%)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、会議時間の短縮や放課後業務の効率化を進めるなど、業務の効率化に努めていく。</li> </ul>
		<p>長時間勤務の削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の業務の中で充実感を感じる教職員の割合は97%で目標値100%を下回った(上半期91%)。</li> <li>・ほとんどの教職員が退校時間を考えて業務を行うことができている。また、欠席等連絡システムの導入により、電話連絡の時間等が削減された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事と関連させながら退校時間を設定し、業務を進めていく。</li> <li>・引き続き、分掌や学年部で作業を分担して行うようにするとともに、業務改善を意識付けできるよう声かけを継続していく。</li> </ul>